

「殺生石」物語考

物語の概略 ⑱

泰親の呪文が続くにつれ、玉藻前の形相は見ているうちに変わり、たちまち、人々の眼前に、その正体を顕し始めた。天女のような美顔麗姿はみるみる、金毛九尾白面の狐に変わり、居並ぶ公卿や殿上人、女官たちは皆肝をつぶした。と、今は妖狐に交じた玉藻前は、魔風の荒れる中に、突如黒雲を呼び、漆黒の虚空の彼方へ、まさに飛び去ろうとする。これを見た泰親は、祈壇の四方の四色の幣をひとまとめに取り上げると、妖狐を

親は、多くの賞賛と褒美を戴き面目をほどこす。加茂明神もまた、その威徳を多いに、人々に讃えられた。

追いかけながら雲を目当てに投げつけた。赤、白、黒の幣はそのまま地に落ちたが、祈壇の東方の青色の幣のみが、雲とともに何処へとなく消え去った。身の毛をそばだてながら、痴呆のように傍観していた人々の頭上に、やがて、晴天が元のように広がり始める。

妖狐とともに消え失せた青色の幣について、泰親は、都より遙か東方の地に落ちているはずであり、その所こそが、妖狐が潜む地であると明言した。朝廷は早速、東国筋へその旨のお触れを出した。

これと同時に、天皇の御惱は、一転して平癒する。天皇の歡慮は浅からぬものがあり、泰

ここに、関東下野国那須郡の領主に那須八郎宗重という者がいた。早速、家来とともに領内を見回った彼は、那須野の原に青色の幣を見つける。八郎宗重は、すぐさま都に注進するとともに、家来及び領民をかり集めて、三日三晩狩りを行う。しかし、広大な原野に、その姿を見つけることは至難であり、そうしているうちに、領内のそちちから、人畜が食い殺されるなど、多くの被害が報告された。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

蒲焼きの匂いが通りに溢れ出て
きょう猛暑日土曜丑の日

かつこう

6月22日午前1時50分、今年度初めて那須町に大雨警報が発令され、町は災害警戒本部を設置しました。梅雨入りし、秋頃まで大雨、台風など風水害に警戒が必要な時季です。今月号8・9頁に防災情報を掲載していますが、どんな災害にも、日頃の備えが大切です。みなで「いざ」に備えましょう。(米)

大雨が降り災害が発生するおそれがあることを想定し、黒田原地区の保育園と小学校で、引き渡し訓練が行われました(24頁)。保育園のいつもと違うお迎えの時間。保育士だけでなく、園児たちも緊張感の中で、ホールに集まり静かに保護者の迎えを待っていました。「いざ」というときのための訓練ですが、日頃から災害への心構えを持ち、家庭でも子どもと災害について話し合っておきましょう。(飯)

那須水害から21年が経とうとしている。年々災害の風化が危惧される中、昨年度、当時の教訓を伝える若手職員向けの研修会が行われ、身が引き締まる思いをした。また町では防災教育にも力を入れており、火山や地震、水害等のあらゆる災害に備える行動力を身に付けようとする師も子どもたちも真剣に取り組んでいる。いつ起きてもおかしくない自然災害。この機会に防災意識を見直したい。(高)

こんにちは

赤ちゃん



渡辺
みゆ
実結
(田島)

平成29年
11月15日生

父 直樹さん 母 由香さん

実結ちゃんは…

外で散歩するのが大好きな元気で活発な女の子です。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(6月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,355世帯 (0)
・人口 25,165人 (-49)
男 12,487人(-21) 女 12,678人(-28)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。